

# 朝見地域計画書



あさみ住民自治協議会

# 目 次

## I. 朝見地区の概要……………1ページ

- (1) 地理
- (2) 産業
- (3) 歴史
- (4) 観光
- (5) 伝統・文化・行事
- (6) 朝見地区の年齢構成別人数
- (7) 朝見まちづくりの現在までの取り組み

## II. 地域の主な問題と課題……………8ページ

- (1) 10町がそれぞれ独立した存在
- (2) 市街化調整区域にあって、人口の減少と高齢化問題
- (3) 静かでのんびりした土地柄と穏やかな人柄
- (4) 働く楽しみ・喜びをいつまでも持ち続けて働けるシステム
- (5) 外に向けて何が発信できるか
- (6) 朝見の農業は

## III. 地域の将来像・目指す姿……………9ページ

- (1) 人的交流・教育・文化・福祉分野
- (2) 防犯防災分野
- (3) 自然や環境・エコ分野
- (4) 地域振興分野
- (5) 人材育成分野
- (6) 地域の伝統や文化財の分野
- (7) 組織の統合

## IV. まちづくりの具体的計画……………10ページ

- (1) 人的交流・教育・文化・福祉分野  
世代を越えたコミュニケーションが取れるまちづくり
- (2) 防犯防災分野  
安心・安全のまちづくり
- (3) 自然や環境・エコ分野  
自然環境を守り・美しいまちづくり
- (4) 地域振興分野
- (5) 人材育成分野
- (6) 地域の伝統や文化財の分野
- (7) 組織の統合

(別紙1) あさみまちづくりがめざすまち (図化したもの)

(別紙2) 朝見の人口分布(平成26年8月)

(別紙3) 朝見の人口分布(令和2年6月)

あとがき

# 朝見地域計画書

## I.朝見地区の概要

### (1) 地理

松阪市東部に広がる平地に位置し、東には橿田川、西には真盛川が流れ、南には県道37号線、北には国道23号線が走る。この地は、主に橿田川の氾濫原として形成された肥沃な土地で、平地のほとんどが水田となっている。

朝見地区は、朝田町、立田町、和屋町、上七見町、下七見町、新屋敷町、大宮田町、佐久米町、古井町、西野々町の10ヶ町からなり、集落のほとんどが河川によりできた自然堤防上に位置している。

### (2) 産業

県道37号線沿いに、中小規模の工場・作業場、飲食店、ガソリンスタンド、コンビニ自動車関係の店舗、材木店が、県道59号線沿いに新しい住居が建設されてはいるが、この二本の道路沿いを除いては、農業振興地域に指定されているため、米作りを中心とした農業が行われている。

しかし近年、農業従事者の高齢化が進み、若者の農業離れもあって、大規模農家に耕作地を預けて、これまで続いた農業に終止符を打つ農家が増えている。今後もこの傾向が進み、大規模な農家への農業の一極化が進むことは避けられないのが現状である。

米作り以外に軒数は少ないが、苺やキュウリ、松阪牛の肥育に取り組む農家もある。そうした流れの中であって、畑で採れた野菜を『きっするくろべ』やスーパーの地場産のコーナーに出して、育て売れることに喜びと楽しみを感じている方もあり、畑の荒廃を避けるためにも、こうした楽しみの農業を残しておくことは大切なことである。

### (3) 歴史

国道42号線松阪・多気バイパスに伴う発掘調査や、朝田町・立田町・和屋町の圃場整備に関わる発掘調査によって、古代から中世に至る当地域の様子が少しずつ明らかになりつつある。

朝見の地に人が住み始めるのは、縄文時代中期末(4000年少し前)のことで、集落の存在が確認できるのは、弥生時代後期になってからのことである。

古墳時代の遺構としては、佐久米古墳群(大塚山・丸山塚・糠塚)があげられる。大塚山古墳は、明治33年県道の工事により墳丘が削られてしまい、現在は畑となっているが、全長45mの帆立貝式古墳であったと推定され、眉庇付冑や銅鏡3面、勾玉、鉄刀片等が出土している。また、金剛川と真盛川との間に位置する糠塚からも銅鏡2面が出土している。古墳の形状や出土品から、5世紀後半には、この地に有力な豪族がいたことが想定される。

奈良時代・平安時代の伊勢と都を結ぶ道、参宮古道は大平尾から石津・郷津・高町・岸江・朝田・立田・清水を通っていた。斎王の群行が、志摩の海産物がこの地を通り、室町時代にはおかげ参りの旅人で賑わいを見せた。また和屋は、猿楽や田楽の伊勢三座のひとつ、和屋太夫が居住した地でもあった。

発掘で発見される遺構・遺物の多くは、奈良時代以降中世に至るもので、それはこの地が、参宮古道道筋にあったことから容易に予想される。また、和屋から上七見にかけては条里制の遺構も残っており、古代・中世・近世と脈々と米作りが行われていたことが偲ばれる。

ただ、朝見上区圃場整備事業により、和屋町の条里遺構はすべて消失してしまった。これも、今後の朝見の農業の方向を選んだ農家の方々の望む方向であれば、残念ではあるが記録として留めるほかはない。

天正16年(1588)蒲生氏郷は、四五百の森に松坂城を築き、城下が栄えるようにとこれまで通っていた参宮古道を付け替えるが、朝田寺に残る絵馬や曾我蕭白の水墨画、清水の民話は江戸時代になっても、この地を通る旅人があったことを物語っている。

逸話や彫刻等、そうした歴史を物語るものとして以下のものがある。

- ・宍師神社(立田町)と丹生の水銀にまつわる話
- ・立田町集落西に位置する空也上人(903頃～972)の碑とそれにまつわる話
- ・立利暁の古戦場(北畠氏と織田氏)
- ・長田忠致と意非多神社(朝田町 土の宮)
- ・真盛上人(1443～1495)と真盛川
- ・朝田寺の地蔵菩薩立像(平安時代前期・重文)・聖観世音菩薩を含む15体の平安時代の仏像や絵馬
- ・古井集会所の多聞天立像(平安時代後期)
- ・安養院の阿弥陀如来坐像(鎌倉時代)・十一面観世音菩薩(南北時代)

#### (4) 観 光

唯一観光としてあげるとすれば、朝田寺であろう。

朝田寺の本尊地蔵菩薩立像は、三重県の国宝指定第1号(現在重要文化財)で、拝観に訪れる方も多し。また当寺は、牡丹や紫陽花、蓮等、花の寺としても知られ、牡丹の開花時期には、市・県外から多くの花見客が訪れる。また、当寺には重要文化財4点を含む11点の曾我蕭白の作品が所蔵されており、4月20日から5月5日の公開には、蕭白目当てに県外から足を運ばれる人も多し。

#### (5) 伝 統・文 化・行 事

朝見地域には、農耕に関わる伝統行事、伊勢三座の一つである和屋座に関わる行事、朝田寺の地蔵盆に関わる行事などがある。

朝見地区に残る伝統行事としては、和屋町・立田町・朝田町に渡って行われる『よいよ神事』、上七見町の『射止め神事』、上七見・下七見の『浅間まつり』、和屋町の『虫送り』、佐久米町の『山の神』等、豊作を願う農耕儀礼に関わるものや、和屋町の面塚で能面に善願成就を願い『能面にお参りする行事』等がある。

朝田町の掛衣の風習は、全国でもここだけの風習であり、地藏盆(8/16～23)には天井に掛かる衣類に手を合わせ故人の冥福を願う参詣者で賑わう。23日の本日には、境内で彩灯護摩や盆踊り、打ち上げ花火などの諸行事があり、お地藏様の厨子の扉を閉じる閉帳の儀のあと、衣類を焼いて8日間のまつり事が終わる。

朝見地区に残る行事 ●はかつて行われていたが、近年になってやめてしまった行事)

月・日	行事	町名	備考
1月6日	○6日講	新屋敷	
1月～2月	○どんど火		一年間かけたしめ縄を焼く
節分	●まめ占い	下七見	竈に乗せた豆の茎の焼け具合で豊作を占う
2月	○八雲神社祭典	大宮田	
2月	○御園神社祭礼	佐久米	酒飲み神事とも言われ、佐久米町の人たちが肴を持ちより、酒を酌み交わす
2月11日	○よいよ神事	和屋 立田 朝田	鎌倉時代から伝わる700年以上続いている行事。市指定無形文化財
2月11日	○奈々美神社祭典	上七見	
2月	○新嘗祭	立田	穴師神社
2月15日	○射止め神事	上七見	豊作を祈る神事、昭和56年に復活
2月	○意非多神社大祭	朝田	
2月	○朝田寺大般若会	朝田寺	奈良時代から続く祈祷会、大般若経600巻を転読
3月	○八雲神社春の祭典	西野々	
3月	○涅槃さん	大宮田	
4月	●豆腐焼き	朝田	農繁期を前に講衆で味噌田楽
4月	○花祭り	古井	55年ぶりに復活
4月	○報告祭(八雲神社)	西野々	入学・卒業・出産・厄等
5月8日	○花祭り	大宮田	
5月	○浅間祭り	●上七見 下七見 ●大宮田	水の神を祭る川まつりと浅間信仰が合体したもので、上七見は5月下旬、下七見は6月末の土・日
6月	○浜参宮	上七見	
6月30日	○浅間祭り	和屋	
7月13日	●虫送り	和屋	
7月14日	○天王さん	和屋	
7月14日	○奈々美神社祭典	上七見	
8月	○護摩供法要	大宮田	
8月	○盆施餓鬼		
8月15日	○初盆送り	朝田・和屋	太鼓をたたき精霊を送る
8月15日	○百万偏	古井	
8月16日～23日	○朝田寺会式	朝田寺	市域全体に及ぶ行事。初盆・三回忌・他ご先祖の供養が行われる

8月28日	○大日さん	和屋	
9月1日	●百萬遍	西野々	薬師寺
9月6日	○行者まつり	朝田	役小角に豊穰を願う
9月16日	○翁面参り	和屋	和屋町集落北の面塚で行う、能面にお参りする行事。この時いただいた杉の小枝を戸口に飾ると病気にかからないとされる。
11月1日	○奈々美神社祭典	上七見	
11月～12月	○山の神	佐久米・西野々 和屋・古井・大宮田	子どもの数の減少とともに、消えつつある。
12月1日	○もものとう	和屋	秋の感謝祭として会食する行事
	●なます神事	下七見	
12月16日	●秋葉さん	下七見	
12月31日	○八雲神社 大祓	西野々	
	○除夜の鐘	朝田	

(参考:詳細は朝見小学校100年誌・聞き取り)

## (6) 朝見地区の年齢別構成人数

参考資料の別表2・別表3は、朝見地区10町について、0歳から4歳、5歳から9歳のように5年を区切りとして男女別の人数を表にしたものである。

この別表2と別表3から考察できることは

- ① 朝見地域の全人数は約5年間で196名減少しており、0歳から69歳までが減少し、70歳以上は増加している。このことは、若年層が朝見地域から転出し核家族化が進んでいると思える。
- ② 各町の世帯数については、それぞれに増減している。全体では3世帯の増加がみられるが、新しい世帯が転入した増加ではなく、既存世帯の世帯分離等に伴う各町世帯の増減の関係であると思われる。
- ③ 65歳以上の高齢者についてみると、朝見全体で見た高齢者率は、37.07% (715÷1982)で、2014年の高齢者率から比べると約7%増加している。また松阪市の高齢者率29.67% (48261÷162632)であり、高齢化が進んできている。

65歳以上の人口が占める割合

2020.6.1現在

町名	割合%	備考	町名	割合%	備考
新屋敷町	48.74	58÷119	西野々町	35.85	57÷159
朝田町	46.81	88÷188	下七見町	34.12	58÷170
大宮田町	44.97	67÷149	立田町	33.33	114÷342
佐久米町	42.65	58÷136	古井町	28.26	39÷138
上七見町	40.74	55÷135	和屋町	27.13	121÷446

## (7)朝見まちづくりの現在までの取り組み

平成18年7月26日に朝見まちづくり協議会が設立され14年が経過してきた。その間様々な取り組みがなされ、多くの方が運営に携わってきた。

朝見まちづくり協議会設立当初の根幹に据えた朝見の将来像は、『ありがとう 地域みんなが支え合い助け合えるまち』で、それを実現するために、《①地域のことをみんなで考え、世代を越えたコミュニケーションができるまち ②安心・安全のまちづくり ③自然環境を守り美しいまちづくり》の3本の柱が設定され、協議会には5つの専門部会が設立され、まちづくり協議会の事業と合わせ、それぞれに部会活動が執り行われてきた。

その3本柱にしたがって、これまで取り組んできたことを振り返ってみると、

### ①地域のことをみんなで考え、世代を超えたコミュニケーションができるまち

(まちづくり・青少年育成部会・健康福祉部会)

世代を超えたコミュニケーションができることが、地域の事をみんなで考えることにつながることであり、地域の事をみんなで考えることが世代を超えたコミュニケーションを作っていく事になる。

あいさつ運動・夏まつり・ふれあい芸能大会・ひよこ教室・地区体育祭・出前講座  
ふれあいクリスマス会・地域高齢事業の実施・総会の開催・運営委員会の開催  
役員会の開催・各部会の開催

### ②安心・安全のまちづくり (防犯部会・防災部会)

防犯パトロール・ふれあい防災訓練については、朝見まちづくりとして特に力をいれてきた事業であり、防犯パトロールは、当初部員の自家用車でパトロールを行っており、〇〇年からは専用車の寄与を受け、現在は2台目の専用車であり、平成23年には青パトが認可され、現在まで週2回のパトロールを行っている。

また、小学校3年生の児童にも同乗の機会を作り、防犯への意識向上に取り組んでいる。ふれあい防災訓練は、まちづくり協議会設立1年前より実施しており、平成〇〇年からは小学生も参加し、地区を挙げて実施している。

平成22年12月4日には、三重県防災大賞を受賞している。

防犯パトロール・子ども防犯パトロール・防犯灯の設置・防災講演会  
ふれあい防災訓練の実施

### ③自然環境を守り美しいまちづくり（まちづくり・地域環境部会）

農業が主たる産業である朝見地区にとって、水田に水を潤す河川は大切であり、河川の美化は美味しい米づくりに通じるものである。環境部会が中心となって、朝見10町で取り組む「幹線水路一斉清掃美化活動」は、今年度で15回を迎える。

冬になって水が無くなる河川の水溜まりに残された魚の救出作戦や毎年パングーの花の苗を配る「花いっぱい運動」は、将来、子どもたちが命ある自然を大切にしてほしいとの願いから始まった、まちづくりと小学校とが連携した活動をしている。

〔 幹線水路一斉清掃美化活動・環境ポスターの掲示・花いっぱい運動・魚救出作戦の実施 〕

### ④その他、食文化への取り組み（まちづくり）

その他の活動としては、朝田寺の牡丹の季節に境内を借りて行う『あさみ田楽』、松阪市牛まつりの時に販売している『松阪牛肉入り味ごはん』の販売等を行ってきたが朝見田楽については平成31年から、味ごはんについては平成29年から諸般の事情により中止をしているが、復活できる事を希望している。

〔 松阪牛肉入り味ごはん販売・あさみ田楽販売 〕



※ 取り組み行事一覧(自治会・公民館を含む)

目的	項目	実施事業	実施主体	
世代を越えたコミュニケーションが取れるまちづくり	子育ての悩みを打ち明ける仲間	ひよこ教室	青少年育成部会	
	地区のみんなが一緒に参加できる行事づくり	世代を越えた地域全般に関わる行事	地区体育祭	公民館
			チーム対抗グラウンドゴルフ大会	
			三世代ふれあいグラウンドゴルフ大会	
			町対抗ビーチボールバレー大会	
			文化祭	
		朝見夏まつり	まちづくり	
		朝見ふれあい芸能大会	まちづくり	
	一般対象の行事	新春ボウリング大会	公民館	
	高齢者対象の行事	高齢者学級		健康体操
				医師の健康講座
				なつかしの歌
				歴史探訪
		講演会		
		東部管内ゲートボール大会 春・秋		
	子どもとの関わりを持った行事	親子健やか体操	公民館	
		親子ふれあい「星座観察会」	公民館	
		ふれあい交流会	青少年育成部会	
		児童と三世代との交流会	健康福祉部会	
		餅つき及び軽スポーツ大会	地区福祉会	
高齢者の6年生を送る会		地区福祉会		
高齢者を支える行事	敬老会	地区福祉会		
	ひとり暮らしの方にXマスケーキを	地区福祉会		
	高齢者宅配サービス	地区福祉会		
	地域敬老事業(市交付金)	まちづくり		
	出前講座	健康福祉部会		
認知症に対する理解と予防	認知症サポーター養成講座	健康福祉部会		
子育てを応援できるしくみ	あさみきっずくらぶ(H27年4月～)	青少年育成部会 小PTA		
あいさつの輪を広げる取り組み	あいさつ運動	まちづくり 小学校		
子どもも大人も安心して遊べる公園づくり				
安心・安全のまちづくり	防犯に関わる活動 安全パトロール	防犯パトロール	防犯部会	
		防犯灯の設置	まちづくり	
	災害に備えての非常時対応	防災講演会	防犯部会	
		ふれあい防災訓練		
		家具転倒防止の啓発		
普段の付き合いを大切にすまち				
登下校時の子どもの見守り・声かけ		青少年育成部会 小PTA ボランティア		
美しいまちづくり 自然環境を守り	○自然を残す			
	○ゴミのない町	ゴミ集積所のマナー	自治会	
		資源回収	自治会	
	○環境保護のための美化運動	幹線水路一斉清掃美化運動	地域環境部会	
		ペットのマナー(犬の糞)	地域環境部会	
		花いっぱい運動	まちづくり 小学校	
○生物の保護	魚救出作戦	まちづくり 小学校		
○美化啓発推進事業	環境啓発ポスターコンクール	地域環境部会		
その他	食文化への取り組み	朝見田楽販売	まちづくり	
		松阪牛肉入り味ごはん販売		

## Ⅱ.地域の主な問題と課題

### (1) 10町がそれぞれ独立した存在

朝見地区は、10町が距離をおいた状態で位置し、それぞれがまとまり、それぞれの町の行事を行ってきた長い歴史があり、自治の面でも精神的な面でも独立した傾向が今に続いている。朝見地区としてのまちづくりを行う上において、10町の枠を越えた『あさみ』という大きな目線で考え、行動していく必要がある。

### (2) 市街化調整区域にあって、人口の減少と高齢化問題

朝見地区は、市街化調整区域に該当し、住宅・商業施設等の開発を行うにも制限がされ、直系の家族が分家を築く以外は、集落の個数が増えることはなく、家を離れていく若者も多く、地区外への分家転出も少なくない。外からの人口の流入は考えにくい状況であり、児童数の減少につながり高齢化が進む要因となっている。

### (3) 静かでのんびりとした土地柄と穏やかな人柄

朝見小学校に赴任した先生の誰もが、子どもも保護者の方も穏やかで、教育面でも取り組みやすいとおっしゃる。おじいちゃんがいる、おばあちゃんがいる、親がいる、ここには世代をつなぐ家族の姿がある。お米があって、野菜があって、贅沢をしなければ食べることに困らない。穏やかでのんびりした空気がある。

そうした環境から、朝見に住む方は押し並べて穏やかでおとなしく、のんびりした方々が多い。それは長所でもあるし、短所でもある。

人前に立って、よい方向に導こうという人材が育ちにくいこと、頼まれればやってくれるが、自ら進んで活動に参加する方が少ないことである。

### (4) 働く楽しみ・喜びをいつまでも持ち続けて働けるシステム

きつするくろべやJAの集荷場に野菜を運んで得るお小遣いを楽しみに畑仕事をしている方もいる。自分が作った野菜を買ってもらい喜んでもらえることは、作る側の楽しみでもあり励みでもある。

しかし、一家の中で野菜を運んでくれる人がいなくなれば、そこで畑仕事の楽しみも意欲も半減してしまう。作る楽しみや喜びを持ち続けられるシステムづくりの必要性を感じる。

### (5) 外に向けて何が発信できるか

朝見地区の残る伝統行事として、朝田寺の掛衣の風習及び牡丹・紫陽花・お寺の名前のついた朝田寺紅蓮等の花、また重要文化財4点を含む11点の曾我蕭白の作品など、和屋町立田町・朝田町に渡って行われる『よいよい神事』、上七見町の『射止め神事』など各地域の伝統行事の発信、また諸事情により中止をしたあさみ田楽、松阪牛肉入り味噌ごはん等の復活とか、農家が減少している状況ではあるが、肥沃な土地に恵まれた朝見の米のブランド化等新しい何かを作っていく必要を感じる。

## (6) 朝見の農業は

朝見は肥沃な平地に恵まれ、田園風景が広がる米どころであるが、近年農業をやめ、大規模農家に耕作を委託する傾向が強い。将来的には、一部の大規模農家と苺やキュウリ等多角経営農業を目指す農家、肉牛の肥育を主とする畜産農家のみが残り、兼業農家が減少していくことが予想される。

とはいえ、朝見の基幹産業は農業であり、このまま衰退させることはできない。

また、農道や河川等の維持管理を一部の農家に任せるには負担が大きすぎ、朝見まちづくりとしても朝見全体の景観や保全管理に務めていかねばならない。

## Ⅲ. 地域の将来像・目指す姿

朝見は、肥沃な平野に恵まれた田園が広がる農業を主産業とする地域であり、住民の人柄ものんびりして穏やかである。距離をおいて立地する10町の構成は、ここ何十年と変わることなく、それぞれに仲間意識は強く独立した社会を形成している。10町それぞれの仲間意識が、朝見地区という視線で物事を見、考え、行動できる大きな仲間を育てば、それはより大きな力となって、今後のまちづくりをより豊かなものにしていくと考える。

私たちは、自分の住む足元だけでなく、『朝見全体のことを、みんなで考え、お互いに支え助け合い、行動できるまち』を目指し、まちづくりに取り組んでいかねばならない。

そのために7つの柱を立てた。

### (1) 人的交流・教育・文化・福祉分野

高齢者社会を迎え、世代を越えたコミュニケーションがとれる場や活動を大切に、年齢の異なる人たちがお互いに助け合い、支え合う、人に温かく優しい社会を実現するまちをつくる。

### (2) 防犯防災分野

地域みんなで子どもや老人の安全をまもり、風水害や地震等の災害からひとりの犠牲者も出さず、物資的被害を最小限に止めるために、地域住民が力を合わせて、誰もが安心して暮らせる安全なまちをつくる。

### (3) 自然や環境・エコ分野

農業を根幹とする朝見の河川・水田・畦畔・農道等の保全や美化を推進し、河川に住む生き物の命を大切に、ゴミの減量やゴミ捨て、ペットを飼うマナーを守り、美しい景観のまちをつくる。

### (4) 地域振興分野

地域の主産業である農業を応援できる人材を育てるとともに、幾つになっても生き生きと働ける場や環境が整ったまちをつくる。

### (5) 人材育成分野

朝見から発信できるアイデアを実現できる人材や仲間の育成に務め、自主財源の確保に努める。

### (6) 地域の伝統や文化財の分野

地域の伝統や文化を知る機会や行事に参加する機会を通して、伝統を受け継ぎ文化財を大切にすまちをつくる。

(7) 組織の統合

松阪市連合自治会とまちづくり協議会の組織の一本化については、長年話し合いが行われてきたところであり、令和2年度に、行政より組織の一本化についての結論が出され、令和3年度からは交付金も含め、組織を統合するとのことが決定しているが、朝見連合自治会・公民館・まちづくり協議会の組織それぞれが協力しながら地域づくりを進めていく必要がある。

IV. まちづくりの具体的計画

まちづくりの事業については、毎年年度当初に事業内容の検討を行ってきている。それぞれの部会の事業についても同様であり、それぞれの部会の中で事業を廃棄したり新規事業を企画したり検討している。

組織の統合に伴う事業などの調整については、自治会、公民館、まちづくりの代表者による調整が必要であり、今までそれぞれの組織で行われてきた事業の一本化等が必要である。今まで取り組んできた事業及び取り組むべき事業については、(1)～(6)の表のとおりである。

(1) 人的交流・教育・文化・福祉分野

世代を越えたコミュニケーションがとれるまちづくり

項 目	実 施 事 業	進 捗 状 況	実 施 主 体		
子育ての悩みを打ち明ける仲間	ひよこ教室	継続	青少年育成部会		
地区のみんなが一緒に参加できる行事づくり	世代を越えた地域全般に関わる行事	地区体育祭	5月 継続	公民館	
		チーム対抗グラウンドゴルフ大会	6月 継続		
		三世代ふれあいグラウンドゴルフ大会	10月 継続		
		町対抗ビーチボールバレー大会	11月 継続		
		文化祭	11月 継続		
		朝見夏まつり	8月 継続	まちづくり	
		朝見ふれあい芸能大会	12月 継続	まちづくり	
	一般対象の行事	新春ボーリング大会	1月 継続	公民館	
	高齢者対象の行事	高齢者学級	健康体操		10月 継続
			医師の健康講座		11月 継続
			なつかしの歌		12月 継続
			歴史探訪		継続
		講演会	継続		
		東部管内ゲートボール大会 春・秋	5・10月 継続		
子どもとの関わりを持った行事	親子健やか体操	6月 継続	公民館		
	親子ふれあい「星座観察会」	8月 継続	公民館		
	ふれあい交流会	2月 継続	青少年育成部会		
	児童と三世代との交流会	12月	健康福祉部会 地区福祉会を健康福祉部会に統合し、一本化をする		
	餅つき及び軽スポーツ大会	1月			
高齢者の6年生を送る会	2月				
高齢者を支える行事	敬老会	9月	継続 地区福祉会 地区福祉会 健康福祉部会		
	ひとり暮らしの方にXマスケーキを	12月			
	高齢者宅配サービス	2月			
	出前講座	随時			
	認知症に対する理解と予防	認知症サポーター養成講座			
子育てを応援できるしくみ	あさみきっずくらぶ (H27年4月～)		青少年育成部会 小PTA		
あいさつの輪を広げる取り組み	あいさつ運動		青少年育成部会 まちづくり 小PTA		
子どもも大人も安心して遊べる公園づくり	場所の選定、設計、年次計画等、今後の課題である		まちづくり		

朝見の住民が憩える広場の選定については、「ひろば選定・設計委員会」を構成し、長期的な展望を持って対処する必要がある。

## (2) 防犯防災分野

### 安心・安全のまちづくり

項 目	実 施 事 業	進捗状況	実 施 主 体
防犯に関わる活動 安全パトロール	防犯パトロール(青パト)	継続	防犯部会
	防犯灯の設置	継続	まちづくり
災害に備えての非常時対応	防災講演会	継続	防犯部会
	ふれあい防災訓練	継続	
	家具転倒防止の啓発		
普段の付き合いを大切にすまち	各町戸別の名簿づくり		防災部会・地区自治会
登下校時の子どもの見守り・声かけ		継続	青少年育成部会 小学校 小PTA ボランティア
通学路の点検			

災害時に備え、各町単位に、各戸の構成員・非常時の連絡先等の情報を収集した名簿作りをすることについて作成の意味の理解を図り、実現したい。

登下校時の子どもの見守り・声かけ、通学路の点検については、ある年だけでなく、毎年呼びかけ定例化していかねばならない。

## (3) 自然や環境・エコ分野

### 自然や環境を守り・美しいまちづくり

項 目	実 施 事 業	進捗状況	実 施 主 体
自然を残す			地域環境部会・土地改良区
ゴミのない町	ゴミ集積所のマナー		自治会・地域環境部会
	資源回収の分別マナー		自治会
環境保護のための美化運動	幹線水路一斉清掃美化運動	継続	地域環境部会
	ペットのマナー(犬の糞)	継続	地域環境部会
	花いっぱい運動	継続	まちづくり 小学校
生物の保護	魚救出作戦	継続	まちづくり 小学校
美化啓発推進事業	環境啓発ポスターコンクール	継続	地域環境部会

農業の効率化の中で、河川の水は春に流れ、秋には止まってしまふ。圃場整備がなされた朝田・立田・和屋においては、パイプ給水となるため、排水のみの川となってしまう、自然が失われつつある。

畦畔や農道の整備や管理、休耕田や今後予想される耕作放棄地への対処等、農業問題や憩いの広場づくりも含め考えていく必要がある。

ゴミ出しや資源ごみ出しのルールについては、時間の経過とともにルーズになる傾向にあり、時を置いて啓発活動をしていく必要がある。

#### (4) 地域振興分野

項 目	実 施 事 業	進捗状況	実 施 主 体
生涯の仕事としての農業	高齢者が生涯の仕事として農業に携わられる環境づくり		畑で野菜を育てる仲間
朝見の農業	大規模農家や野菜・苺・畜産等の専業農家、兼業農家が誇りと希望がもてる農業経営ができる 農地や畦畔・農道・河川の環境を守る		
朝見から発信	あさみ田楽、味ごはん、〇〇〇等 〇〇〇 地元野菜直売所 あさみの米		〇〇サークル

#### (5) 人材育成分野

地域の方々に、まちづくり協議会の活動等の内容について、知ってもらうことが必要である。そのため活動に対して、参加しやすい状況を作る必要がある。

#### (6) 地域の伝統や文化財の分野

項 目	実 施 事 業	進捗状況	実 施 主 体
周知・広報	写真入りカレンダーの作成		歴史サークル
	史跡・文化財地図の作成		
	あさみウォーキング		

(4)(5)(6)については、新しく提案する分野であり、まちづくりの中に検討・推進するサークルをつくり、取り組んでいかねばならないと考える。

#### (7) 組織の統合

連合自治会・公民館の組織については、長年の功績があり、まちづくり協議会との統合については、既存事業の精査等十分な協議が必要であるが、早急な調整が必要である。

#### その他

(別表1) 朝見まちづくりがめぎすまち(図化したもの)

(別表2) 朝見の人口分布(平成26年8月)

(別表3) 朝見の人口分布(令和2年6月)

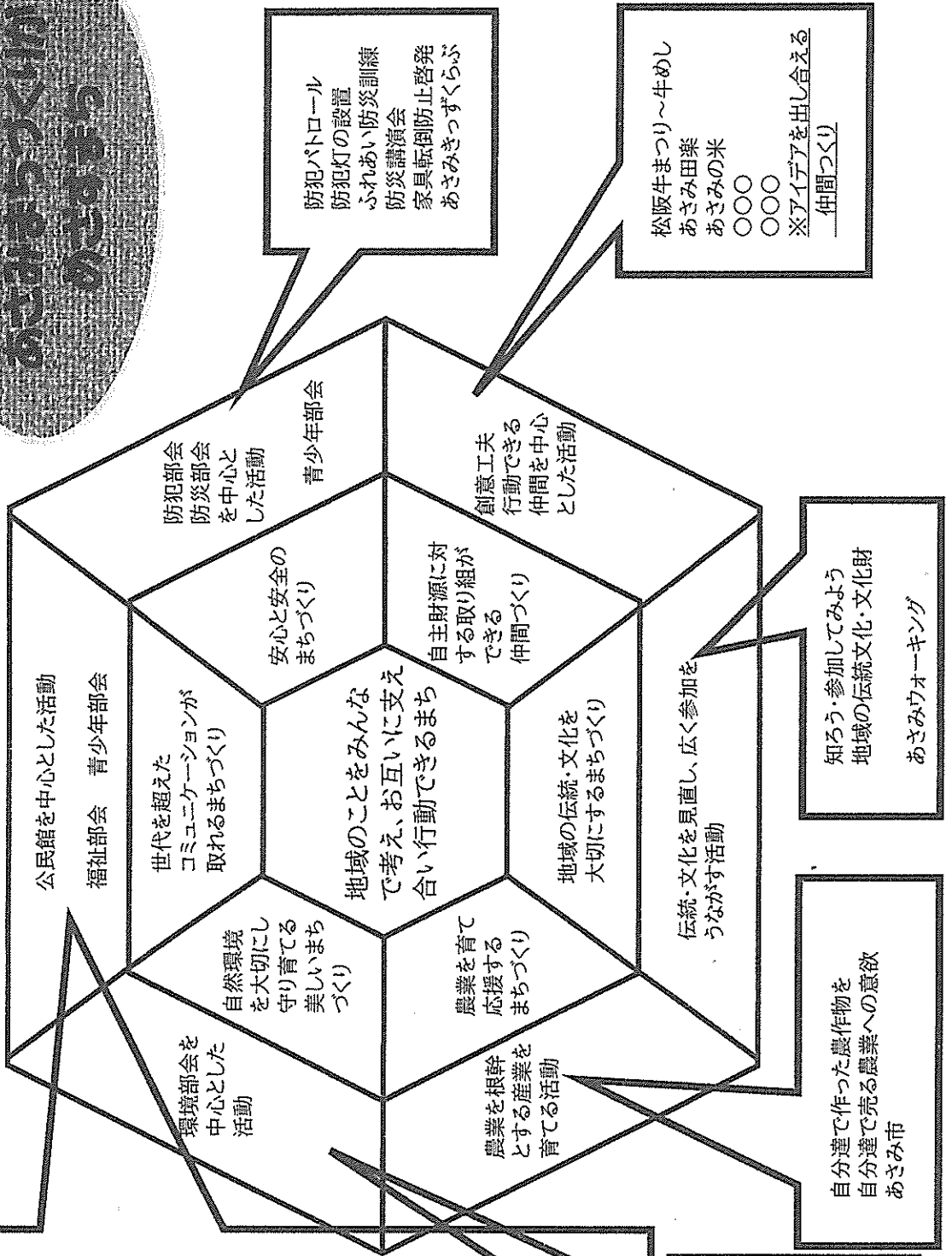
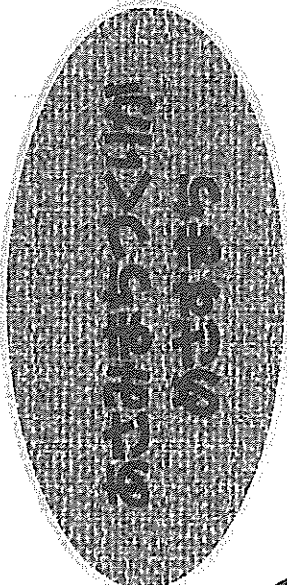
別表1 朝見の将来

《地区民参加の行事》  
 高齢者対象  
 世代を超えて  
 子どもとの関わり  
 《地区の声が届く活動》  
 《憩いの広場をつくらう》

- 地区体育祭  
 チーム対抗グラウンドゴルフ  
 三世代ふれあいグラウンドゴルフ  
 町対抗ビーチバレー大会  
 文化祭 新春ボウリング大会  
 東部管内春期ゲートボール大会  
 東部管内秋期ゲートボール大会  
 夏まつり あさみ芸能大会  
 なつかしの歌 講演会  
 歴史探訪 親子健やか体操  
 親子ふれあい星座観劇会  
 餅つき及び軽スポーツ大会  
 児童と三世代交流会  
 高齢者と6年生を送る会  
 敬老会 高齢者宅配サービス  
 ひとり暮らしの方にXマスカーク  
 認知症サポーター養成講座  
 出前講座  
 あさみキッズクラブ  
 あいさつ・声かけ運動

美化運動  
 水路の清掃・啓発ポスター  
 ペットのマナー啓発  
 花いっぱい運動  
 ゴミの分別、ゴミ出し  
 《憩いの場をつくらう》  
 魚救出作戦

人材の発掘と活動に参加する人を育てる



朝見地区の年齢構成 (2014/8/31)

町	朝田		立田		和屋		上七見		下七見		新屋敷		古井		西野々		佐久米		大宮田		朝見地区			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計	
世帯数	82		169		202		58		56		59		52		56		45		67		846			
0~4	0	3	6	8	12	14	2	1	2	4	2	0	1	4	6	5	1	1	1	1	3	33	43	76
5~9	0	4	6	4	17	14	2	3	6	5	1	0	5	4	5	0	1	1	3	3	46	38	84	
10~14	2	0	6	8	9	12	1	3	4	8	1	2	1	2	4	4	6	3	6	5	40	47	87	
15~19	1	4	13	13	15	11	4	1	4	0	1	2	7	3	3	8	2	2	1	0	51	44	95	
20~24	10	2	6	22	12	10	3	1	2	2	3	3	1	4	1	2	6	3	0	4	44	53	97	
25~29	4	1	16	13	16	12	3	2	5	5	8	3	3	5	0	1	1	0	1	5	55	47	102	
30~34	4	6	14	9	23	22	5	7	5	8	5	2	3	2	3	3	2	0	4	1	68	60	128	
35~39	5	4	13	9	15	18	10	3	5	3	4	2	2	3	6	6	6	4	4	6	70	58	128	
40~44	8	4	18	11	12	19	2	2	6	8	3	0	2	2	10	5	4	2	6	10	71	63	134	
45~49	6	8	13	15	15	25	2	3	8	2	3	3	6	8	6	5	4	6	6	2	69	77	146	
50~54	5	6	11	8	10	15	1	5	4	6	4	6	11	5	3	2	3	4	2	5	54	62	116	
55~59	9	7	13	12	19	14	5	5	9	6	5	8	7	7	2	4	5	4	5	1	79	68	147	
60~64	12	6	6	14	14	15	11	12	3	3	12	6	4	4	5	8	5	8	7	11	79	87	166	
65~69	13	16	20	18	15	15	6	5	6	7	6	8	1	1	5	9	9	7	8	6	89	92	181	
70~74	7	11	8	16	14	12	5	3	9	9	1	5	4	6	7	3	4	5	6	9	65	79	144	
75~79	5	5	11	14	6	13	3	3	6	4	4	3	3	4	6	6	2	9	6	4	52	65	117	
80~84	5	8	9	7	3	11	2	9	2	3	3	7	5	9	3	6	4	4	2	5	38	69	107	
85~89	4	9	2	3	4	5	5	7	3	6	5	6	2	4	0	4	3	3	3	5	31	52	83	
90~94	0	5	3	3	2	2	0	3	0	0	1	3	0	2	0	3	0	1	1	2	7	24	31	
95~99	0	0	1	1	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	2	7	9	
100以上																					0	0	0	
各地区計	100	109	195	208	233	260	72	80	89	89	72	70	66	79	75	84	69	69	72	87	1,043	1,135	2,178	
	209		403		493		152		178		142		145		159		138		159					



別表3 朝見の年齢分布

朝見地区の年齢構成 (2020/6/1)

町	朝田		立田		和屋		上七見		下七見		新屋敷		古井		西野々		佐久米		大宮田		朝見地区		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
世帯数	87		157		201		53		62		55		57		62		47		68		849		
0~4	3	1	3	4	8	7	1	4	3	2	4	2	1	3	2	2	4	1	3	2	32	28	60
5~9	4	4	5	7	12	13	2	2	1	4	2	0	0	6	9	4	2	0	1	4	38	44	82
10~14	0	1	7	3	13	14	3	2	6	2	1	0	4	4	5	2	2	1	2	2	43	31	74
15~19	2	2	6	8	11	11	0	3	6	7	1	2	3	1	3	2	6	3	7	3	45	42	87
20~24	2	2	15	11	10	5	4	1	5	0	1	1	5	1	3	5	6	2	1	1	52	29	81
25~29	7	2	2	13	8	7	1	1	1	3	1	1	2	2	0	1	4	0	0	1	26	31	57
30~34	4	4	8	2	13	9	4	4	4	3	2	2	1	6	0	1	2	1	1	4	39	36	75
35~39	1	3	10	8	21	17	6	7	5	5	3	3	4	3	4	4	1	1	1	3	56	54	110
40~44	4	3	11	8	12	19	7	2	2	4	6	2	3	3	8	6	6	4	8	4	67	55	122
45~49	6	4	14	12	15	11	3	0	7	7	2	0	1	2	9	8	4	3	7	11	68	58	126
50~54	7	6	14	12	12	19	2	3	8	3	5	2	5	6	8	5	3	3	5	2	69	61	130
55~59	7	6	7	10	10	16	2	5	4	5	1	3	12	7	3	1	4	6	1	5	51	64	115
60~64	7	8	16	12	17	15	5	6	9	6	4	4	7	7	3	4	5	4	4	0	77	72	149
65~69	12	5	7	11	11	18	10	10	5	3	10	6	5	3	4	6	4	6	6	10	74	78	152
70~74	11	15	18	18	19	16	6	5	4	6	6	9	1	2	5	11	9	6	9	8	88	96	184
75~79	5	8	7	17	12	11	2	3	9	9	1	2	3	6	6	2	4	6	5	8	54	72	126
80~84	6	6	7	13	5	12	4	4	6	5	3	5	1	4	3	5	2	9	5	4	42	67	109
85~89	4	5	6	4	2	8	3	4	0	2	3	5	2	6	3	7	4	4	2	5	29	50	79
90~94	3	6	1	3	1	4	2	0	2	6	4	2	1	3	0	3	0	1	0	4	14	32	46
95~99	0	2	1	0	0	1	0	1	0	1	0	2	0	2	0	1	0	0	0	0	1	10	11
100以上	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	1	6	7
各地区計	95	93	165	177	212	234	67	68	87	83	60	59	61	77	78	81	73	63	68	81	966	1,016	1,982
	188		342		446		135		170		119		138		159		136		149				

## あしがき

朝見地域計画が平成27年5月に作成され5年が経過しようとしており、地域計画の見直しについて、役員会で検討は話し合いを行ってきた。

検討を行う中で、現在の地域計画を大きく変更する必要はなく、5年の経過を考える中での松阪市の方針による、連合自治会・公民館・まちづくり協議会の統合については、具体的に予算も含めどのように事業を行っていくのか、今後もまだまだ協議が必要である。

令和3年4年21日

朝見まちづくり協議会

会長 野呂 昌美

役員一同